

## 海外施設利用に係るお知らせ

東大物性研中性子散乱全国共同利用課題採択者 各位

3月11日に起こった東日本大震災の影響でJAEA 東海地区も大きな被害を受けました。現在、JAEA では JRR-3 の復旧に向けて動きだしていますが、平成 23 年度の中性子ビーム利用の実施開始がいつになるかわからない状況です。J-PARC も深刻なダメージを受け、2011A の実施は絶望的とのことでした。

こうした状況のため、海外の施設から緊急ビームタイム提供の支援が来ております。この温かい支援の申し出に応えるためにも、早急に海外で実施する課題を選定して斡旋する必要があります。混乱を避けるため、原則として、J-PARC/MLF 課題はパルス中性子源をもつ施設に、JRR-3 の課題は原子炉を持つ施設に提案することとしました。

JRR-3 サイドでは物性研が運営をしている全国共同利用および日本原子力研究開発機構が運営しているそれぞれの装置で平成 23 年度に採択された課題のうち、学問的または産業利用の観点から重要である課題や学生の学位取得等の緊急を要する課題を、提案されて来た該当装置に対して優先的に斡旋したいと考えております。

この支援申し出に対応すべく、提案されて来た装置に対する課題の選定が課題評価委員会の評点に沿って該当する装置のすべての課題の中から実施されます。課題が候補に挙げた場合には実験代表者にその課題の該当海外施設における実施可能性に関する問い合わせがありますので、その際にはご協力よろしくお願いいたします。

最終的には東大物性研、原子力専攻および日本原子力研究開発機構による推薦課題の調整後に海外施設から提案された緊急ビームタイムに斡旋する予定です。ただし海外の施設においても競争率の高いビーム利用の中からの精一杯の限られた緊急ビームタイムの提供ですので、利用者様におかれましてはこのような状況を理解していただき、ご協力をお願いいたします。

尚このお願いは今回の海外施設からの緊急ビームタイム支援に関するであり、個人の海外研究施設への課題申請や従来継続されてこられた海外研究グループとの共同研究等を制限しようとするものではありませんし、現時点で旅費の支給の計画は無く、推薦課題の調整後にどの程度、「申し込み」及び「利用」支援が出来るかは不明でありますので、ご承知おきくださるようお願いいたします。

東大物性研附属中性子科学研究施設  
柴山充弘